

## 中川 勲 議員（代表質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

#### (1) 小・中学校における対策について

- ア 感染症対策は、十分に注意されているのか、また、授業の進行は順調にいき、遅れを取り戻しつつあるのか。
- イ 児童生徒の健康管理や、心のケアはされているのか。
- ウ 授業再開日や夏休みの日程が県内各市と違うのは、なぜか。
- エ 十分な熱中症対策が必要だと思うが。

#### (2) 国・県が行う支援事業について

- ア 各種支援事業の申請、給付状況はどうか。
- イ 休業者が急増しているとのことであるが、滑川市としてどう対応するのか。
- ウ 市民に特別定額給付金が支給されるが、申請、給付状況はどうか。

#### (3) 滑川市が行う支援事業について

- ア 小・中学校の給食費が令和2年度は無料とのことだがなぜか。
- イ プレミアム付商品券発行事業で使える先を限定した商品券にできないか。
- ウ 飲食店への支援事業は幾つかあるが、その他の業界への支援事業が見えないが。

#### (4) 第2波が来ると言われているが備えはするのか。

- ア これまでの情報の中には、カタカナの専門用語が多く使われ、分からないことが多くあった。分かりやすい言葉で情報を出すべきと思うが。
- イ 学校での机の配置や密閉・密集・密接の3密を防ぐ対策をはじめとして、感染拡大を予防するための「新しい生活様式」のPRや高齢者施設や障害者施設への支援事業に取り組むべきと思うが。

### 2 各種行事・イベントの開催予定について

- (1) 富山湾岸クルージングの氷見漁港を結ぶ新航路が許可され運航されているが、今後どのようにしてPRされるのか。

(2) 来年のほたるいか海上観光は実施されるのか。

(3) 今後の滑川市主催の行事やイベントは実施されるのか。

## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 新型コロナ対策について

- (1) 雇用状況の深刻化が伝わっているが、市内での状況は調査されているか。
- (2) 市として緊急雇用等は検討しないか。
- (3) 市内業者への影響について実態の聞き取り、調査等はされているか。
- (4) 予定されているプレミアム付商品券の考え方について
  - ア プレミアム部分を2割からさらに増やすことは。
  - イ 市内中小事業者を支援する観点を重視した運用が必要ではないか。
- (5) クリニックを含めた医療機関、介護事業者も苦境にあると報道されている。市内事業所の状況はつかんでいるか。何らかの支援が必要ではないか。
- (6) 国保の被用者への傷病手当が可能になるが、「個人事業主」も対象に拡大しているところがある。検討されないか。
- (7) 小中学校の就学援助は所得の激変があった場合、前年所得を基準とするのではなく柔軟に対応するべきではないか。
- (8) 国の第2次補正予算に対応する施策は検討しているか。

### 2 防災対策の見直しについて

- (1) 新型コロナ感染対策を踏まえた対策の見直しが必要
  - ア 避難所の装備と運営の見直しが必要
    - ・ ベッド、間仕切り、分散、食事、トイレ等
  - イ 関係機関、関係者を含めた運営訓練の実施
  - ウ 「避難所」といえば学校の体育館では無理。指定避難所の見直しも必要。市内での対応をどうするか。
- (2) 洪水ハザードマップの見直しで、6カ所の避難所が洪水時に使用できないこととされた。代替施設をどうするのか。関係町内会への周知徹底

や改めての説明、訓練等が必要ではないか。

- (3) 防災行政無線のデジタル化に伴う個別受信機の配備、普及について
- 以前の答弁では当分の間、従来のアナログ波による防災ラジオを使用することだったが、報道によれば他の自治体でも新たな動きが出ているのではないか。
- (4) 地域防災計画の見直しについて
- 計画の見直しが必要になっている。早急な取り組みが必要と考えるがどうか。

## 角川 真人 議員（一般質問）

### ・ 夏を迎えるにあたっての新型コロナウイルス対策について

- (1) 市長の提案理由説明の中で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、高齢者の外出機会が減少し、それによる高齢者の活動量の低下から身体能力の低下が懸念されているとあったことに同意する。これから以前のように運動を行う習慣を取り戻すためにどのようなことを考えているか。
- (2) 自宅で運動できるように、ケーブルテレビで体操などの番組も予定されているようだが、これから気温が上がっていくと室内での運動では熱中症の恐れも出てくる。対策は考えているか。
- (3) ただでさえ高齢者の中には体感温度の衰えから、暑くてもエアコンを使用しないという方が一定数おられる。外出機会も少なくなったうえに、対面するような訪問もできるだけ避けているような御時世であるが、安否確認は十分に行えるのか。
- (4) 高齢者に限らず収入面などの問題からエアコンを十分に使用できない世帯もあると思う。今の感染症対策で仕事に出ることができず収入減となった世帯に対し、夏の間だけでも電気代への補助はできないか。
- (5) 熱中症対策としてエアコンの使用は当然のものと考えているが、学校など一定以上の人数が集まる場所ではエアコンによる気流によって感染の恐れがあるのではという疑問の声もある。滑川市内の小中学校ではどう考えているか。



## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症に関する教育環境の想定・準備について

- (1) 令和2年5月25日現在、国の新型コロナウイルス感染症対策本部決定の基本的対処方針でも、再度、感染が拡大する場合に備える必要があると示された。本市においても市内小中学校が、5月21日より再開されたが、感染状況が変化した場合、再度、臨時休業の措置をとる場合があるとしている。文科省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等においても、地域における感染者が増加した場合に備え、想定・準備を進めておくことが重要であると示されている。本市の感染者発生時の学校における想定・準備について説明を求める。
- ア 文科省からの「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」にある、学校で感染者が発生した際の臨時休業判断事項を考慮し検討した際は、学校の全部を臨時休業にする必要性が高いと考えるが、文科省からの衛生管理マニュアルに対する教育委員会の見解はどうか。
- イ 市内特定の学校で、感染者1名の発生を想定した場合は、学校の全部または、一部の休業実施等どう判断するか。
- ウ 市内で感染経路が不明の感染者が少数発生した場合、または、感染経路は、たどることはできるが感染者多数場合の判断はどうか。
- エ 今現在の未履修課程の補習期間は、夏休みを短縮し措置されるが、再度、臨時休業が実施された場合の、補習対応はどうか。
- (2) 今後、生徒児童・保護者へ本市の備え、想定・準備を周知していくことがなければ、児童生徒・保護者の生活環境、学習準備にも障害が起こり得るのではないかと、そして、感染症の感染防止に加え、緊急時の学習時間や機会の確保に対する準備の周知により不安を解消し、安心した暮らしにつながると考えるが、情報提供の必要性について見解はどうか。

### 2 新型コロナウイルス感染症に関する公共施設休業判断について

- ・ 今後、市内において新型コロナウイルス感染者発生時、感染状況に応じる公共施設休業判断等に対しての想定・準備について問う。

### 3 新型コロナウイルス感染症に関する行財政運営等について

- (1) 平成30年4月1日～平成31年3月31日までの管理・運営委託事業決算額内、文化・スポーツ振興財団の経常収益は約3億2,100万円に対し管理・運営受託事業収入は約1億3,200万円。(株)ウェブ滑川の純売上高は約2億5,800万円に対し、受託事業収入は、約1億700万円あり、過去の実績をもとに予算化され各収入額に応じ、委託費の支払いが行われているが、社会活動の自粛や新しい生活様式の実践により、今後の各施設利用料等の収入に対する見込み、課題について問う。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大により活動・集会の自粛、海外・全国から観光客の集まる観光事業は相次ぎ開催中止、ホテル、旅館、飲食、小売業を中心に地元企業は大幅な減収を余儀なくされている。さらには、令和2年5月1日に経済産業省から成長戦略部会における基礎資料が公開され、上場企業の業種別の売上高の下方修正幅（2020年2月1日・4月28日公表分）では、製造業マイナス1兆2,057億円下方修正され、日本の自動車メーカー海外販売台数も大きく下落し、ものづくりのまち滑川といわれる本市の地域経済への影響は計り知れない。企業収益が悪化すると、企業が納める法人市民税が減少するとともに、解雇や減給になれば、従業員が納める住民税も減少する。過去、本市でも平成21年度以降、リーマンショックの景気低迷の影響から、法人市民税が前年に比べ大きく減少した。国の経済対策により持ち直しはしたが、新型コロナウイルスの景気低迷の影響はリーマンショック時と比較し、本市の税収影響に対する想定について見解を問う。
- (3) 今定例会に提出された補正予算案では、新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けた市民生活や市内経済への各種対策を提出しているが、飲食店への助成が多く見受けられる。今後の市内経済対策として追加補正予算案等の編成の考えはあるか。
- (4) 新型コロナウイルス対策として今回、補正予算では財政調整基金残高約20億円から約1億5,000万円を取り崩し活用される案だが、さらなる取り崩しに関し想定しているか。また、どの程度の取り崩しを可能限度と設ける覚悟があるか問う。
- (5) 国の新型コロナウイルス対策に伴う、2020年度歳出と国債発行額は過去最大を更新し、6月1日開催の財務省諮問機関である財政制度等審議会では、将来世代への負担先送りが加速することへ懸念の声が相次いだとされた。過去最大だった2019年度一般会計歳出104兆7,000億円に対し



2020年度第1次・2次補正予算と当初予算合わせ160兆3,000億円に拡大し補正財源は全て国債発行で賄い、今年度国債発行額は、90兆2,000億円となった。政府は国・地方の基礎的財政収支（プライマリーバランス＝PB）を2025年度に黒字化を掲げていたが、PB赤字額は、当初予算段階の9兆2,000億円から66兆1,000億円となり、審議会からは「目標達成は難しくなったが緊急的でやむを得ない」というものであった。本市においても新型コロナ対策による歳出・財政調整基金の取り崩し等は避けられず、社会構造は大きく変化し、今後も想定していない課題により緊急性が高まる可能性も考えられる。支援を期待している市民の声、一日一日不安を抱えながら暮らす人々もいるなか、最重要とされるものは、本市が「市民の生命と暮らしを守る」という強いメッセージである。まさに「選択と集中」が求められるなか、中滑川駅前再開発事業計画のような予算規模の開発計画がスケジュール通りに進められた場合、市民感情はどうか。見解を問う。



## 脇坂 章夫 議員（一般質問）

### 1 熊の出没について

- ・ 熊の出没情報は、いつ、どのような方法で発信しているか。

### 2 イノシシの出没について

- (1) 昨年度の各地区の出没状況について
- (2) 昨年度の各地区の被害状況について
- (3) 昨年度の捕獲・駆除の状況について
- (4) 各地区からの苦情、現地視察について

### 3 鳥獣被害防止対策について

- ・ 鳥獣被害対策の取り組みについて

### 4 補正予算について

- ・ 今後、市単独の第2次補正予算は考えているのか。



## 竹原 正人 議員（一般質問）

### ・ 新型コロナウイルス感染症に関する対応・対策について

#### （1）本市独自の事業実施について

- ア 小・中学生の給食費無償化が、今年度に限り実施されるが、高校生、大学生などの学生への支援策は考えていないのか。
- イ 児童扶養手当受給者臨時給付金の助成は、児童扶養手当を受給するひとり親などに対し、児童一人当たり、3万円となっている。給付金額の妥当性について見解は。
- ウ 飲食店応援給付金、1,300万円について市内で飲食店を営むすべての事業者一律10万円を給付するとあるが、事業者の線引きは考えなかったのか。
- エ 市内在住で市外で飲食店を営む人もいる。この人たちへの配慮はないのか。
- オ 飲食店以外の業種への応援給付金を出す考えはなかったのか。
- カ プレミアム付商品券については、滑川商工会議所が主体となって事業をするとの説明であったが、並ばなくて、不公平感のない、販売方法を考えているのか。
- キ 今後、新型コロナウイルス感染症の、第2波、第3波が到来した場合、本市としての対応をどのように考えているのか。
- ク 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策に、思い切った予算が必要になってくる。事業の精査をし、対応していくのか。

#### （2）子どもたちの学習環境について

- ア 小・中学校の休業による授業時間の確保について、どのように行っていくのか。
- イ オンライン学習など、今後どのような対応を行っていくのか。
- ウ オンライン学習が実現できるのであれば土曜授業はいらなくなるのではないか。見解を伺う。

#### （3）本市の指定避難所について

- ア 今後、3密を避けるために、避難所のあり方を再考していかなければならない状況だと考える。見解は。
- イ 先日全戸配布された洪水ハザードマップは見にくい。わかりにくい。地区ごとのマップが必要ではないか。



## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症の対応について

- (1) 学校給食費無償化事業を新型コロナウイルス感染症対策に選んだ理由は。
- (2) 小中学校の休校について、他の市町村と足並みを揃えないのはなぜか。
- (3) 国のGIGAスクール構想において具体的な内容と利用法は。
- (4) 市長、副市長及び教育長の給与の臨時特例に関する使い道について
- (5) 新型コロナウイルス終息後に、活気を取り戻すための花火大会を企画しておくことはできないか。

### 2 西部小学校区放課後児童クラブについて

- ・ 今年度完成予定を目指すと聞いているが、詳細な進捗予定と安全確保はどうか。





## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 市・独自の支援

- ・ 新型コロナを乗り越えようと市民生活や経済を守る市独自の17の支援策の中から
  - ア 小・中学生の給食費無償化について、どのような考え方なのか伺う。
  - イ 保育園・幼稚園・認定子ども園の幼児に対する給食費の考え方はどのようなのか。全員が無料ではない。同じ市内の未来ある子どもでは。
  - ウ 給食費だけ取り上げるとすると、本当に困っている人の支援は今後どのような調査をして応援するのか、しないのか。状況によって、2年～3年無料ということもあるのか。今後の取り組みはどうか。
  - エ 17の支援の中では、雇用の創出は触れられていないが、雇用の創出を考えると、このコロナでパートを打ち切られたり、出勤時間や日数の縮小であったり、いろいろな人がおられると思う。その皆さんを公共施設のアルコール消毒職員（衛生管理者）として採用したり、公園管理、道路点検など、さまざまな事業を市民の皆さんに担当してもらう人材の雇用を考える時期ではないか。いつまで続くか分からない新型コロナの中で、新しい雇用の仕方もあるのでは。自治体行政にしかできない暖かなまちづくりを考えるチャンスではないか。
  - オ 就労支援・生活支援・経済支援を考えたワンストップの「緊急支援窓口」の設置はどうか。まずは、相談を受けることからスタートでは。

### 2 ICT教育の中で

- (1) 新型コロナの影響によって、学習はオンライン化、デジタル化に変化すると考えられる。仕事も学習も家でできることになる。ここで学ぶことの格差が生まれてしまったのではないか。今後どのように対応していくのか。
- (2) 新型コロナの第2波、第3波を考えて、現在滑川市の所有しているタブレット端末の貸し出しをしてはどうかと考える。そのためには今後どのような調査や整備・準備が必要か。子どもたちのために用意したタブレットだから、まず使えばどうか。
- (3) 令和2年3月の補正予算で可決された、GIGAスクール構想の小学校費約7,900万円と中学校費約3,700万円は今議会でも繰越明許費と報告があった。購入のための準備と調達の方法はどのようなになっているのか。

早くしないと3年前のように現物が納入されるのが翌年の3月21日などということのないようにしてもらいたい。一部だけでも早く購入すべきではないか。状況はどうか。

### 3 地域公共交通について

- ・ 滑川市の公共交通『のるmycar』の乗客が、年々減少している。乗客拡大のためにキャンペーンを展開することは考えられないか。(乗って守ろう・のるmycar作戦)

## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症に関する対策について

#### (1) 飲食店応援給付金について

- ア 直近の申請件数は。
- イ 実態調査を行ったのか。
- ウ 給付の基準について

#### (2) 国の2020年度第2次補正予算にある、地方創生臨時交付金を活用して、本市独自の事業者への家賃支援策を講じてはどうか。

### 2 防災について

- ・ コロナ禍を踏まえた避難所における防災・減災対策について
  - ア 分散避難の体制構築について
  - イ 避難所の衛生環境の確保について
  - ウ 発熱、咳等の症状がでた者のための専用のスペースの確保について

### 3 福祉について

- ・ 8050問題について
  - ア 本市の中高年（40～59歳、60～64歳）のひきこもりの人の現状について
  - イ 現在の本市の支援の取り組みと体制について
  - ウ 今後の支援の取り組みについて



## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 人・農地プランについて

- (1) 当市の登記上の、地目・田の総面積、並びに水稻の作付面積の現状について
- (2) 田の総面積から水稻作付面積を差し引いた、他面積の田の用途の現状について
- (3) 田の所有者（地権者）の現状、並びに自家個人耕作者での農業経営、及び経営面積の現状について
- (4) 耕作の面積集積の現状、並びに認定、法人、任意等の経営体の現状について
- (5) 人・農地プランの実質化の5地区の発表があったが、他地区の実質化について
- (6) これら現状を踏まえて、将来5年～10年後の人と農地のあり方について
- (7) 改めて、所有者（地権者）、個人耕作者、経営体等、農地の出し手、受け手含めて、大々的なアンケートによる意識調査と現状・実態把握の実施について
- (8) 次に、行政、JA、土地改良区、所有者（地権者）、個人耕作者、経営体等、農地の出し手、受け手を含めた関係者が集い、5～10年後の担い手と、農地の利用のあり方、そして経営体のあり方を議論・検討する場、組織を立ち上げる予定はないか。

### 2 中滑川駅周辺地区整備事業について

- (1) 5月18日に産業厚生建設委員会協議会で、中滑川駅周辺地区整備事業基本設計の概要の説明があった、以後、意見交換、検討、議論等の場も時間もなく、この6月定例議会に基本設計に基づいた実施設計予算を計上されたが、この手法は適正と考えるか。

- (2) 平成31年1月に基本構想が提示され、承認された基本構想に基づいた基本設計が今年の3月に完成し、5月に提示されたが、基本構想と基本設計は、基本方針・コンセプトは変わらないものの、施設の内容、レイアウト、配置、構造等が全く異なるが、その見解について
- (3) 国からの補助について、まずは基本構想に基づいて補助申請し、その認可が下り、その後基本設計に基づいて6月に変更申請し、8月にはその認可が下りる予定とのことであるが、当初から変更ありきと知っていたながらの補助申請は虚偽申請、また悪意の行政行為に当たらないのか、その見解について
- (4) 今年度、第5次総合計画、並びに公共施設等総合管理計画を補完する個別施設計画の10年計画の策定年度であり、公共施設の統合・複合化、機能集約、施設総量の適正化、並びに施設維持管理経費等マネジメント、並びにスクラップ&ビルドの観点からの整合性について
- (5) 新施設の維持管理として、電気、ガス、上下水道等の光熱水費、電話、ファックス、有線無線設備、パソコン等通信経費、事務管理人件費並びに指定管理費等、全体の維持管理固定経費について
- (6) 早々に、6月広報に中滑川駅周辺整備で賑わい創出にご協力くださる事業者の募集が掲載されていたが、民間の採算ベースの観点から、集客について、過去の検証、市場調査の実施並びに別途主要集客要因の構築、検討等の必要性について
- (7) 地域防災拠点施設として地震、津波、台風、洪水等自然災害時の避難施設とのことであるが、今回の新型コロナウイルス感染症を踏まえて、自然災害と感染症対応を考慮した避難施設のあり方の検討の必要性について
- (8) 基本構想では備蓄倉庫が別棟であったのが、基本設計では1つの施設の中の2階に設置とのこと、備蓄品の搬入・搬出の物流の機能性について。また、備蓄品に新型コロナウイルス関連品が含まれるのか。
- (9) 基本構想では2階建て構造だったのが、基本設計では3階建て構造で、かつただのオープンなスペースで多目的ホールとして活用とのことであるが、近隣には交流プラザの多目的ホール、市民会館大ホール、西地区コミュニティホールと3カ所もあるが、別にホールを設ける需要と必要性について。また、3階建て構造変更への主目的について

- (10) 現在の設計提示の複合施設が、はたして地域住民の要望・ニーズに沿うものなのか、市民にとって本当に必要なものなのか、時代の変化、人口動態、財政状況、公共施設の全体構想・計画等を踏まえた中期的な展望に立って、改めて検討・見直しの必要性について

